

✧ 岩手県の強靱化 取組事例集



【改訂版】

令和8年6月 岩手県県土整備部

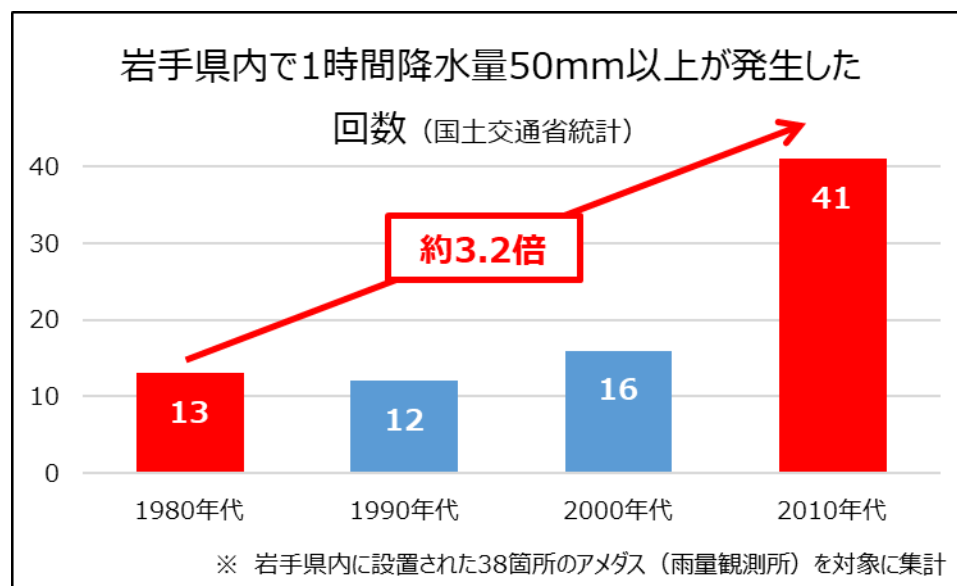
岩手県の強靱化に向けた取組

近年、自然災害は激甚化・頻発化しており、本県においても、平成28年台風第10号や令和元年第19号（東日本台風）などが大きな被害をもたらしました。また、令和7年2月には大船渡市林野火災が、令和8年4月には大槌町林野火災が発生したところです。

このような中、国では平成30年12月に「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を、令和2年12月に「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を、そして令和7年6月には「第1次国土強靱化実施中期計画」を策定し、**国土強靱化の取組を推進**しています。

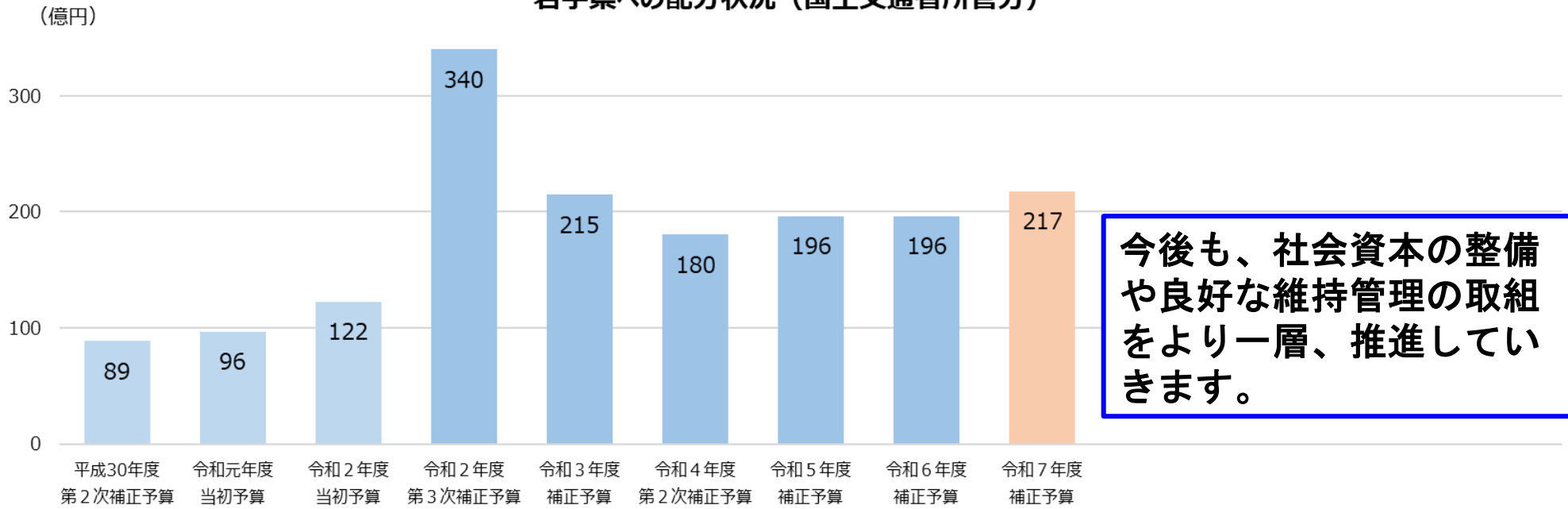
岩手県では、こうした予算はもとより、国土強靱化に資する地方単独事業を最大限活用し、**社会資本の整備や良好な維持管理**に取り組んできました。

その整備効果等は着実に現れていますが、全国各地で激甚な自然災害が頻発していることから、**県土の強靱化に向けた取り組みを深化・加速化**させ、より一層、強化してい必要があります。



予算の状況

岩手県への配分状況（国土交通省所管分）



今後も、社会資本の整備や良好な維持管理の取組をより一層、推進していきます。

※1 国土交通省公表資料を基にした岩手県調べ。 2 県・市町村を含む事業費ベース。

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策
(平成30年度～令和2年度の3年間)

おおむね7兆円程度

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策
(平成3年度～7年度の5年間)

おおむね15兆円程度

第1次国土強靱化実施中期計画
(平成8年度～12年度の5年間)

おおむね20兆円強程度

効果事例

1 効果事例（その1）

分野	対策の内容	箇所
河川	堤防等の整備	岩手町 北上川
		岩泉町 小本川
		遠野市 猿ヶ石川
	内水対策（ポンプゲート設置）	久慈市 沢川
	河川に堆積した土砂を撤去	軽米町 瀬月内川
		九戸村 瀬月内川
		野田村 宇部川
		葛巻町 山形川
		田野畑村 平井賀川
	洪水浸水想定区域図の公表	花巻市 瀬川
砂防 <small>えんてい</small> 堰堤の整備	岩泉町 本銅口の沢	
	山田町 田ノ浜沢（3）	
	釜石市 尾崎白浜の沢（6）	
	急傾斜地の崩壊対策	盛岡市 桜山（3）
		陸前高田市 神明前

効果事例



5

1

効果事例（その2）

分野	対策の種類	箇所
道路	斜面を固定し、崩壊を防止	一関市 舞川地区
	斜面からの落石を防止	大槌町 土坂峠地区
		宮古市 川内地区
	舗装の補修	住田町 子飼沢地区
		洋野町 大野地区・金ヶ崎町 六原地区
	スノーシェルターの老朽化対策	宮古市 柏木スノーシェルター
	橋りょうの老朽化対策	軽米町 猿越橋
道路の整備	花巻市 花巻PASIC	
	二戸市 岩谷橋	
	遠野市 笛吹峠地区	
	岩泉町 乙茂工区	
港湾	岸壁の老朽化対策	宮古市 宮古港

河川 堤防等の整備（その1）

いわてまち きたかみがわ きたかみがわ
➤ 岩手町 北上川（北上川水系）

対策前

平成22年7月 浸水被害
（最大1時間雨量59.0mm記録）
水堀観測所



対策後

令和4年8月大雨時 浸水被害なし
（最大1時間雨量42.5mm記録）
奥中山観測所



**対策の
効果**

平成22年7月の大雨での被害を受けて、
再度の災害が生じないように、川幅を広げ、護岸を整備しました。

効果事例

河川 堤防等の整備 (その2)

いわいずみちょう おもとがわ おもとがわ
➤ 岩泉町 小本川 (小本川水系)
【大雨による増水】浸水被害なし
令和6年8月 (台風第5号)

対策後

	観測地点	地点名	降水量 mm	観測年月日	備考
1時間 降雨量	小本	岩手県岩泉町	124.5	令和5年8月13日	台風第7号
	酒田大沢	山形県酒田市	112.5	平成30年8月5日	
	鹿角	秋田県鹿角市	108.5	平成25年8月9日	
3時間 降雨量	小本	岩手県岩泉町	304.5	令和5年8月13日	台風第7号
	普代	岩手県普代村	236.5	令和元年10月13日	東日本台風
	鹿角	秋田県鹿角市	229	平成25年8月9日	
24時間 降雨量	筆甫	宮城県丸森町	588	令和元年10月13日	東日本台風
	小本	岩手県岩泉町	576	令和5年8月13日	台風第7号
	川内	福島県川内村	441	令和元年10月13日	東日本台風

▲ 東北地方
歴代降水量観測順位

(赤鹿橋水位計地点)

赤：河川改修前の状態であった場合の推定水位

改修によって水位を25cm低減

築堤

青：令和6年8月最高水位

改修で掘削した範囲

対策の
効果

平成28年台風第10号での洪水被害を受けて実施している河川改修事業で、築堤や河道の掘削を実施した結果、大雨による水位の上昇を低減させ、浸水被害を防ぐことができました。

効果事例



河川

堤防等の整備（その3）

とおのし さるがいしがわ きたかみがわ
➤ 遠野市 猿ヶ石川（北上川水系）

対策前



【堤防の整備前】

対策後



令和5年3月完成

令和5年8月降雨時 浸水被害なし
(日雨量86.0mm記録)

対策の
効果

度重なる大雨による洪水被害を受けて、
再度の災害が生じないように、堤防等を整備しました。

効果事例

河川

内水対策（ポンプゲート設置）

➤ 久慈市 沢川（久慈川水系）

令和6年台風第5号時 内水氾濫なし

対策前



対策後



対策の
効果

令和元年 東日本台風での被害を受けて、内水対策として、強制排水ポンプが付いた逆流防止のためのゲートを設置しました。

効果事例



河川

河川に堆積した土砂を撤去（その1）

かるまいまち

せつきないがわ

にいだがわ

➤ 軽米町 瀬月内川（新井田川水系）

対策前



【河道の掘削前】

対策後



掘削量
約1,400m³

令和5年3月完了

対策の
効果

河川に堆積した土砂を撤去し、水がスムーズに流れるようにしたことで、洪水被害が発生するリスクを低減しました。

効果事例



河川

河川に堆積した土砂を撤去（その2）

くのへむら せつきないがわ にいだがわ
➤ 九戸村 瀬月内川（新井田川水系）

対策前



【河道の掘削前】

対策後



掘削量
約500m³

令和5年2月完了

対策の
効果

河川に堆積した土砂を撤去し、水がスムーズに流れるようにしたことで、洪水被害が発生するリスクを低減しました。

効果事例

河川

河川に堆積した土砂を撤去（その3）

のだむら

うべがわ

うべがわ

野田村 宇部川（宇部川水系）

対策前

令和元年台風第19号時 浸水被害
(24時間雨量322mm記録)



【河道の掘削前】

対策後

掘削量
約4,900m³



令和4年3月完了



対策の
効果

河川に堆積した土砂を撤去し、水がスムーズに流れるようにしたことで、洪水被害が発生するリスクを低減しました。

効果事例

河川

河川に堆積した土砂を撤去（その4）

くずまきまち やまがたがわ まべちがわ
➤ 葛巻町 山形川（馬淵川水系）

対策前



【河道の掘削前】

対策後



掘削量
約2,000m³

令和6年8月完了



令和6年8月
大雨時

浸水被害なし

対策の
効果

河川に堆積した土砂を撤去し、水がスムーズに流れるようにしたことで、洪水被害が発生するリスクを低減しました。

効果事例



河川

河川に堆積した土砂を撤去（その5）

たのはたむら

ひらいががわ

ひらいががわ

➤ 田野畑村 平井賀川（平井賀川水系）

対策前

対策後

掘削量
約1,300m³

【河道の掘削前】

令和5年3月完了

対策の
効果

河川に堆積した土砂を撤去し、水がスムーズに流れるようにしたことで、洪水被害が発生するリスクを低減しました。

効果事例

河川

洪水浸水想定区域図の公表

北上川水系瀬川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

【洪水浸水想定区域図(例)】



対策の 効果

岩手県が管理している沿川に住宅等のある294河川について、洪水浸水想定区域図を公表し、ハザードマップの作成などに活用しています。

砂防

えんてい 砂防堰堤の整備（その1）

いわいずみちょう

ほんどうぐちのさわ

➤ 岩泉町 本銅口の沢（その他水系）

対策前



対策後



砂防堰堤

令和7年7月完成

【土石流発生】平成28年台風第10号
（人家1戸損壊、7戸床下浸水）

対策の
効果

土石流を捕捉し、土砂災害を軽減する砂防堰堤を建設し、
下流の人家、町道などを保全しました。

砂防

えんてい 砂防堰堤の整備（その2）

やまだまち

たのはまさわ

➤ 山田町 田ノ浜沢（3）（その他水系）

対策前



対策後



対策の
効果

土石流を捕捉し、土砂災害を軽減する砂防堰堤を建設し、
下流の人家、避難施設、町道などを保全しました。

砂防

えんてい 砂防堰堤の整備（その3）

かまいしし おざきしらはまのさわ
釜石市 尾崎白浜の沢（6）（その他水系）

対策前



対策後



対策の
効果

土石流を捕捉し、土砂災害を軽減する砂防堰堤を建設し、
下流の人家、市道などを保全しました。

効果事例

砂防

急傾斜地の崩壊対策（その1）

もりおかし さくらやま
盛岡市 桜山（3）

対策前



対策後



令和6年8月完成

対策の
効果

がけ崩れの防止対策を実施し、人家などを保全しました。

効果事例

砂防

急傾斜地の崩壊対策（その2）

りくぜんたかたし

しんめいまえ

➤ 陸前高田市 神明前

対策前



対策後



令和6年3月完成

対策の
効果

がけ崩れの防止対策を実施し、小学校（避難所）を保全しました。

効果事例

道路

斜面を固定し、崩壊を防止

いちのせきし

まいかわ

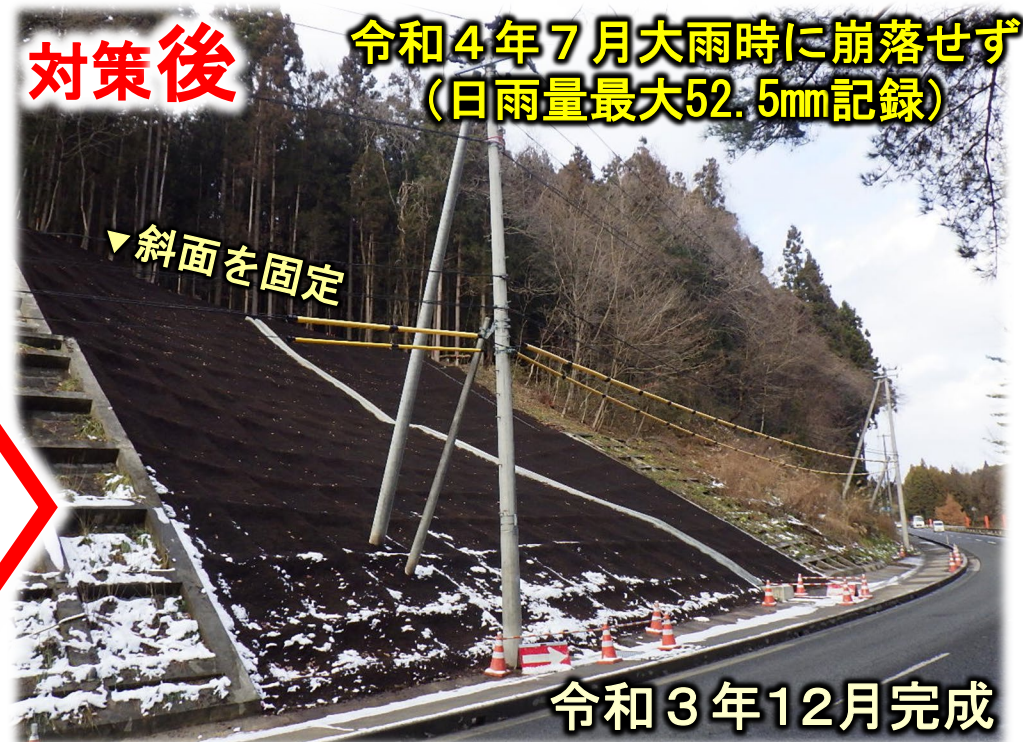
いちのせきだいとうせん

➤ 一関市 舞川地区 (主要地方道一関大東線)

対策前



対策後



対策の
効果

崩落していた道路の斜面を、大雨時でも崩壊しないように枠で固定し、通行止めとなるリスクを低減しました。

効果事例

道路

斜面からの落石を防止（その1）

おおつちちょう

つちさかとうげ

おおつちおぐにせん

➤ 大槌町 土坂峠地区（主要地方道大槌小国線）

対策前



対策後



対策の
効果

道路の斜面からの落石を防止する網を設置し、通行止めとなるリスクを低減しました。

効果事例

道路

斜面からの落石を防止（その2）

みやこし かわうち
➤ 宮古市 川内地区（一般国道106号）

対策前



対策後



令和6年10月完成

対策の
効果

道路の斜面からの落石を防止する網を設置し、
通行止めとなるリスクを低減しました。

道路 舗装の補修（その1）

➤ ^{すみたちょう}住田町 ^{こがいさわ}子飼沢地区（一般国道397号）

対策前



対策後



対策の
効果

劣化した舗装を補修したことで、安全に走行できるようになりました。

効果事例

道路 舗装の補修（その2）

ひろのちょう おおの
洋野町 大野地区
(主要地方道八戸大野線)

対策後



令和4年12月完了

かねがさきちょう ろくはら
金ヶ崎町 六原地区
(一般県道前沢北上線)

対策後



令和6年12月完了

対策の
効果

劣化した舗装を補修したことで、安全に走行できるようになりました。

効果事例

道路

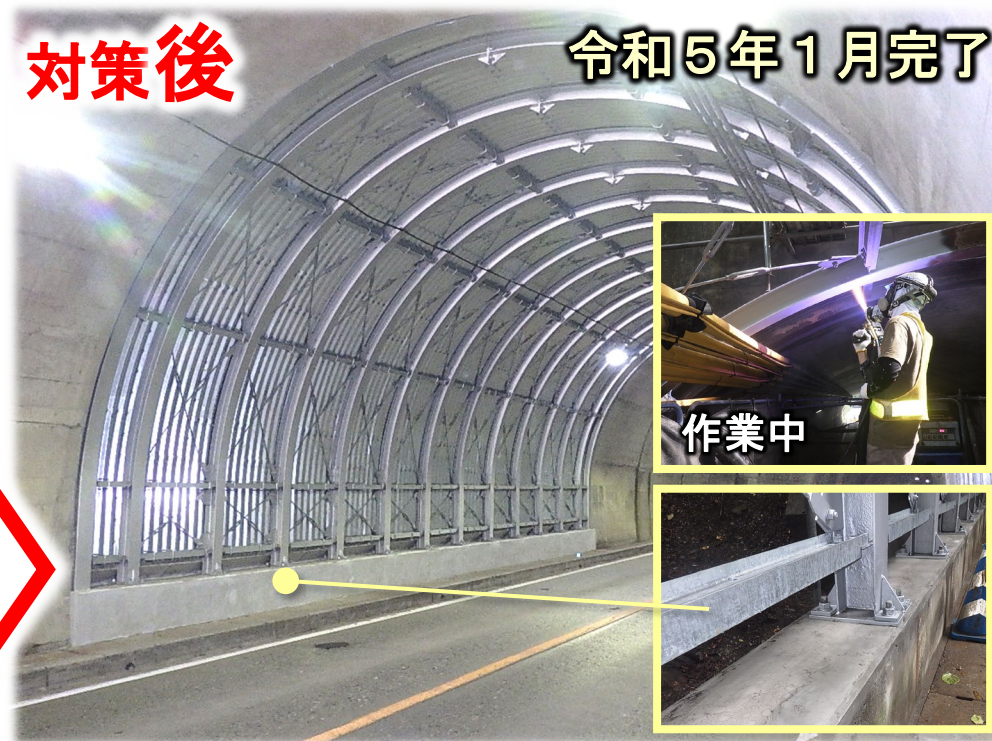
スノーシェルターの老朽化対策

➤ ^{みやこし}宮古市 ^{かしわぎ}柏木スノーシェルター（一般国道106号）

対策前



対策後



対策の
効果

腐食が進んでいた部材の修繕・更新を行いました。

道路

橋りょうの老朽化対策

➤ かるまいまち 軽米町 さるごえばし 猿越橋（一般国道395号）

対策前

※ 橋の下側から撮影

対策後

支承の損傷

【クラックの発生】
(ひび)

支承の更新

令和4年10月完了

対策の
効果

- ・ ひび の入っていた床版（床板の部分）を、新しいものに更新しました。
- ・ 支承（上部構造と下部構造と間の部材）を、免震タイプに更新しました。

道路

道路の整備 (その1)

はなまきし はなまき はなまきわがせん
➤ 花巻市 花巻PASIC (一般県道花巻和賀線)

対策後



対策の
効果

東北自動車道 花巻パーキングエリア (PA、県事業は下り線) にスマートインターチェンジ (SIC※) を設置しました。 (※SICはETC専用のIC)

効果事例

道路

道路の整備（その2）

にのへし いわやばし あらせかみたおもてせん
➤ 二戸市 岩谷橋（荒瀬上田面線）

対策前

旧橋：昭和25年完成
（幅員9m）



対策後

新橋：幅員16~19m
（交差点部は19m）



右折レーン設置により、
交通渋滞を大幅に解消

**対策の
効果**

都市の円滑な交通を確保するため、都市計画道路を整備しました。

効果事例

道路

道路の整備（その3）

とおのし 遠野市 ふうふきとうげ 笛吹峠地区 かまいしとおのせん （主要地方道釜石遠野線）

対策前

これまで：幅員4.5m



対策後

拡幅後：幅員5m



対策の
効果

大型車同士のすれ違いが困難であったため、道路を拡幅しました。

効果事例

道路 道路の整備（その4）

いわいずみちょう おとも

➤ 岩泉町 乙茂工区（一般国道455号）

対策前



対策後



褒野工区



対策の
効果

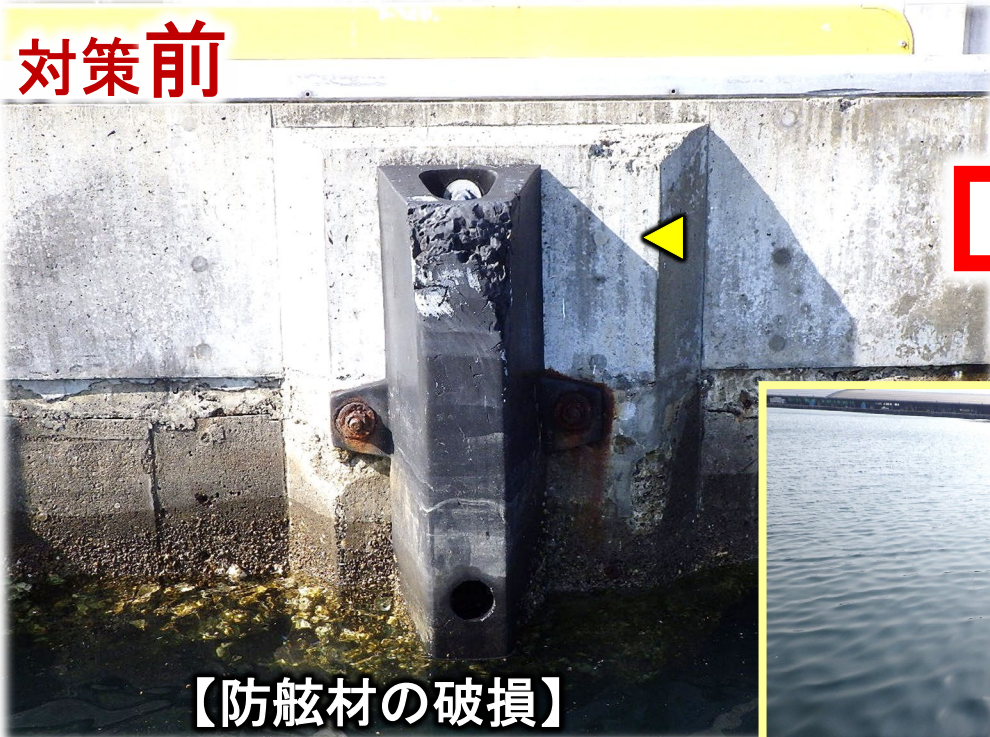
平成28年 台風第10号での被害を受けて、
洪水の際の道路の冠水対策として、道路の嵩上げなどを行いました。

港湾

岸壁の老朽化対策

みやこし みやここう くわがさき
宮古市 宮古港 (鋤ヶ崎地区)

対策前



【防舷材の破損】

対策後



令和5年3月完了

対策の
効果

破損していた防舷材※を更新したことで、船舶が安全に係留できるようになりました。
(※防舷材は船舶と岸壁の間のクッション材)